

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策 I-1-4 企業誘致の推進
---------	------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	企業立地課長 横原 由文	電話番号	0852-22-5764
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	県営工業団地等の分譲促進事業		
目的	(1) 対象	県営工業団地	
	(2) 意図	県営工業団地のインフラや環境を整備することなどにより、企業立地の魅力度を高め分譲を促進する。	
事業概要	県営工業団地の分譲を促進するための事業を実施 ・工業団地の視察 県内工業団地の分譲を進めるため、企業に対し視察に係る費用弁償を実施。 ・県営工業団地の分譲促進補助金 石見臨空ファクトリーパークの分譲単価を維持するため、島根県土地開発公社へ補助金を交付。 ・石見臨空ファクトリーパーク企業誘致促進協議会 石見臨空ファクトリーパークの分譲を促進するため、周辺市町村と県で構成する企業誘致促進協議会の活動費を負担。		

2. 成果参考指標

(1) 指標名	県営工業団地（SBP、石見臨空FP、江津、江島工業団地）の分譲面積	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		4.00	4.00	4.00	
式・定義	立地計画の認定企業＝計画認定時の面積 定がない企業＝土地契約時の分譲面積	実績値	1.30	0.40	3.30	3.68		
		達成率		10.00	82.50	92.00		%
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00		
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	27,736	23,907
うち一般財源(千円)	27,736	23,907

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・県営工業団地への平成26年度の立地は、分譲2件（江津地域拠点工業団地2件）、リース1件（ソフトビジネスパーク1件）であった。
 ・平成26年度末の分譲率は、江島工業団地で92.8%、江津地域拠点工業団地で81.9%、石見臨空ファクトリーパークで34.3%、ソフトビジネスパーク島根で55.3%となっている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・江津地域拠点工業団地で2件の分譲
 ・ソフトビジネスパーク島根で1件のリース契約

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 県西部の県営工業団地に大規模な未分譲地がある。（石見臨空ファクトリーパークの分譲率が34.3%にとどまっている）
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 高速交通網などのインフラが不十分。
- ③原因を解消するための「課題」
- 現状のインフラでの立地環境を最大限に活かした企業誘致活動の実施。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・石見臨空ファクトリーパークについて、潤沢な上水道や市が整備した貸工場の活用実績などを参考に、地元益田市と連携しながら農林水産物を必要とする食品産業などに立地を働きかけて行く。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）